



いたばし未来パレット



Culture 絵本のまち

「絵本のまち板橋」の拠点のひとつ、板橋区立中央図書館では、約2万2000冊の児童書を所蔵するほか、100か国・70言語・3万冊の絵本を所蔵する、いたばしポロニーヤ絵本館を併設。親子でにぎわう1階、情報を集約・発信する2階、読書や学習に集中できる3階と、目的にそって過ごすことができます。平和公園をのぞむカフェやテラスなど、図書館で1日を過ごす人も多くいます。

Culture 国際交流



都内初の区立美術館としてオープンした板橋区立美術館は、40年以上にわたり「イタリア・ポロニーヤ国際絵本原画展」を開催。個性豊かな世界の絵本を通して、多様性を伝えてきました。展覧会をきっかけに交流を重ねたポロニーヤ市と2005年に友好都市交流協定を締結するなど、絵本を通じた交流は、これからも広がり続けます。



Challenge 挑戦

板橋こども動物園の「こども動物クラブ」では、子どもたちが飼育員の一員として、動物の世話や来園者の接客に挑戦。仲間と協働するなかで、社会性や協調性を身につけています。令和3年にリニューアル・オープンした植村冒険館。映像や展示、野外体験事業を通して、どのような状況におかれても、人間らしい豊かな心で目標に向かい努力する、冒険家・植村直己の「ウエムラ・スピリット」を伝えています。



Support 成育支援

令和4年、従来の「子ども家庭支援センター」と「児童相談所」がひとつの組織となり、「子ども家庭総合支援センター」が誕生。区が主体となり一貫した支援と迅速な対応がはじまっています。子どもが主体的に学ぶ学校づくりをめざす板橋区。上板橋第二中学校では各科目のメディアスペースを設け、生徒と教職員が自発的に教科の魅力を発信し学び合っています。



誰もが未来を描きつづけられる社会に。
「いたばし未来パレット」。



Generation 世代間交流

古くから農業が盛んだった板橋区は、区立水車公園の稲作体験や、赤塚植物園農業園での野菜栽培・収穫など、子どもたちに「農」の体験を伝えています。また、まなぼーと大原では、多種多様なサークル活動を通して、世代を超えた交流から笑顔が生まれています。昔ながらの知恵の継承や、楽しい時間を共有する時間は、世代を超えてひととをつないでいます。

Environment 環境

板橋区は、2050年にCO₂排出実質ゼロをめざす「ゼロカーボンいたばし2050」を表明。再生可能エネルギー100%電力を区の施設に計画的に取り入れ、同電力を利用した電気自動車の導入を予定しています。また、環境保全の取り組みとして、省エネやヒートアイランド現象の緩和などに効果のある「緑のカーテン」を普及、区民に広がり、まちの緑化に役立っています。



Event 催事

板橋区の4大イベントはこのまちの大きな魅力です。関東最長級の「大ナイアガラの滝」や花火師たちの競演に心躍るいたばし花火大会。全国1万人以上のランナーが競い合う板橋Cityマラソンでは、完走率95%を超えます。板橋区民まつりは、区民が主役となり神輿や阿波踊りに盛り上がります。板橋農業まつりでは、野菜でできた「野菜宝船」を小学生と農家の人たちが引いてパレードし、交流を深めています。



板橋区政策経営部広聴広報課・ブランド戦略担当課
〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号
TEL 03-3579-2515 FAX 03-3579-2028

